

令和7年度

学校評議員会及び学校評価委員会

学校評価結果報告書



令和8年1月

松山市立日浦小・中学校

Ⅰ 児童生徒アンケート結果

【小学校児童】

			昨年度	
カテゴリー	質問内容	平均値	平均値	
教育課程 学習指導	1 先生は、分かる、楽しい授業をしてくれる。	3.8	3.9	
	2 先生は、パソコンを使ったり黒板や掲示物を工夫したりして授業をしてくれる。	3.8	4.0	
	3 学習や学校行事を通して、自分は成長できていると感じる。	3.6	3.7	
	4 日浦のことを大切に思っており、日浦のよさをみんなに伝えたい。	3.9	4.0	
人権・同和 教育 生徒指導	5 友だちと仲良く助け合っている。	3.7	3.9	
	6 学校のルールやきまりを守っている。	3.4	3.6	
キャリア教育	7 将来の夢や「なりたい自分」について考えようとしている。	3.4	3.6	
安全管理 保健管理	8 学校は、事故やけがの防止などに気を付けており、安全だと感じる。	3.6	3.9	
	9 自分の健康状態を確認したり、適切に水分補給したりするなど、自ら健康管理ができています。	3.4	3.6	
	10 学校は、換気の確保や手洗い等、日頃から感染症対策ができています。	3.7	3.8	
特別支援教育	11 先生は、一人一人を大切にしてくれる。	3.9	4.0	
組織運営	12 困ったときは先生に相談できる。	3.3	3.6	
学力向上	13 学校の授業や家庭学習に一生懸命取り組み、学習内容を理解しようと努めている。	3.5	3.3	
保護者 地域との連携 情報提供	14 学校は、地域や保護者と協力しながら学校行事を行っている。	3.8	3.9	
	15 学校は、日浦便りやホームページ等により、みんなの頑張りを発信している。	3.8	3.9	
教育環境	16 学校は、校舎内の掲示物が整っており、みんなの頑張りが見える。	3.7	4.0	
小中連携	17 縦割り班活動などで認め合ったり支え合ったりすることができています。	3.8	3.9	
	18 小学校と中学校が一緒に活動することは大切だと感じる。	3.8	3.9	

【考察】

○（1・2・11）教師に対する評価は概ね高い。今後も教職員同士の連携、日々の研修や自己研鑽等に励み、よりよい学習・生活指導の実践に努めたい。

○（4・17・18）日浦ならではの小中連携教育や、特色ある学習活動及び学校・地域行事の実践により、学校教育目標『ふるさと日浦を愛し、「いあうえお」を体現する児童の育成』につなげることができている。

○▲（13）自身の学習に対する取組についての評価は、昨年度よりやや上昇。ただし、他の項目と比較すると高い数値とは言えない。今年度は、ひうらオリンピックやドリル学習の時間の見直しと実践、定期的な生活習慣力チェックの実施などに取り組んできた。今後も家庭との連携を図りながら、児童の学力向上に向けた取組を進めていきたい。

▲（3・6・7・9）昨年度同様、自己の成長や自己管理能力等に関する評価が、他の項目をやや下回る。ルールを守ること、自分の将来や目標について考えること、健康な生活の仕方などについて指導する機会は、各教科学習や特別活動、その他日々の学校生活の中にたくさんあり、実践を続けている。今後、項目13も含め、これらの項目について「指導の徹底」及び「フィードバックの充実」を図り、児童自ら成長を実感したり、夢や目標を持って前向きに学校生活を送ったりすることができるよう、教育課程の見直しを進めていきたい。

▲（12）昨年度同様、他の項目に比べて評価が低く、項目11の評価との差から矛盾を感じる結果となっている。毎月の学校生活に関するアンケート調査は継続して実施しており、また、項目1・2・11から、教師に対する評価、信頼は概ね高いと考えてよいと思われるので、相談時間の確保や教職員及び児童の余白の創出を意識した教育課程の見直しを進めていきたい。

【中学校生徒】

昨年度

カテゴリー 質問内容			平均値	平均値
教育課程 学習指導	1	先生は、分かる、楽しい授業をしてくれる。	3.6	3.7
	2	先生は、パソコンを使ったり黒板や掲示物を工夫したりして授業をしてくれる。	3.8	3.8
	3	学習や学校行事を通して、自分は成長できていると感じる。	3.5	3.3
	4	日浦のことを大切に思っており、日浦のよさをみんなに伝えたい。	3.6	3.7
人権・同和 教育 生徒指導	5	友だちと仲良く助け合っている。	3.5	3.6
	6	学校のルールやきまりを守っている。	3.3	3.7
キャリア教育	7	将来の夢や「なりたい自分」について考えようとしている。	3.3	3.1
安全管理 保健管理	8	学校は、事故やけがの防止などに気を付けており、安全だと感じる。	3.7	3.6
	9	自分の健康状態を確認したり、適切に水分補給したりするなど、自ら健康管理ができています。	3.5	3.5
	10	学校は、換気の確保や手洗い等、日頃から感染症対策ができています。	3.7	3.7
特別支援教育	11	先生は、一人一人を大切にしてくれる。	3.8	3.8
組織運営	12	困ったときは先生に相談できる。	3.1	3.1
学力向上	13	学校の授業や家庭学習に一生懸命取り組み、学習内容を理解しようと努めている。	3.4	2.9
保護者 地域との連携 情報提供	14	学校は、地域や保護者と協力しながら学校行事を行っている。	3.5	3.8
	15	学校は、日浦便りやホームページ等により、みんなの頑張りを発信している。	3.8	3.9
教育環境	16	学校は、校舎内の掲示物が整っており、みんなの頑張りが見える。	3.7	3.6
小中連携	17	縦割り班活動などで認め合ったり支え合ったりすることができている。	3.6	3.7
	18	小学校と中学校が一緒に活動することは大切だと感じる。	3.8	3.8

【考察】

- （２）情報主任を中心に、ＩＣＴ支援員や講師を招いての研修を数回開き、教育現場での最新のＩＣＴ活用等の情報共有がなされており、実践を通して有効な活用方法を学んでいることが、日々の授業で生かされていると考えることができる。
- （１５）昨年度と同様に高い評価。昨年度以上に、速攻性を上げ、日浦小中学校の活動のホットな情報をより早く伝えることができている。
- （１１）教師と子どもたちとの関係は良好である。少人数で、教師との関わりが多いことが起因していると考えられる。
- （１８）小中連携で、530運動や田植え稲刈り、日浦大運動会や日浦駅伝など、縦割り班で中学生がリーダーシップを発揮することが多い。小学生をリードするために中学生としての自覚と責任が芽生えていることが伺える。
- （１３）昨年度の反省を生かし、授業中の反復練習やドリル学習の徹底が学力向上主任を中心に実践できている結果と考える。
- ▲（５・６）小学校から固定化された小集団のため、思春期の子ども特有の馴れ合いが出やすい頃だと考える。教職員が同じ指導感のもと、複数の目で教育にあたり、正しい判断ができる生徒の育成に力を入れたい。
- ▲（１２）学校を明るくする調査を毎月実施している。（１１）の結果との整合性がない点が気になる。大切にしてくれている半面、教職員の多忙感等が伝わり、生徒の悩みを打ち明ける環境・時間が少ないことも要因の一つではないかと考える。生徒が本当に困ってしまう前に、定期的に教育相談日（今年度も実施予定）を設けるなど、相談しやすい体制、人間関係づくりに日々の教育活動で努めていく。
- ▲（７・１３）学力向上やキャリア教育に関して、ポイントは上昇しているものの依然、全体の中では数値は低い。学校の授業では意欲的に活動しており、学習に対して前向きに取り組んでいる。また、各授業で出される課題に対しても真剣に取り組んでいる生徒がほとんどである。しかし、家で自らが課題意識を持って学習に取り組めていないということが分かる。個別懇談などを通して保護者への家庭学習習慣の意識づけが必要だと感じている。

2 保護者学校評価結果

【小学校保護者】

			昨年度	
カテゴリー	質問内容		平均値	平均値
教育課程 学習指導	1	学校は、一人一人が分かる喜び、共に学ぶ喜びを実感できる授業を行っている。	3.6	3.7
	2	授業では、タブレットPC・テレビなどの教育機器が効果的な場面で活用されている。	3.6	3.6
	3	学校は、お子さんの学力や体力の状況を把握し、それらの充実に向け計画的に指導を行っている。	3.7	3.4
	4	お子さんは、授業や様々な体験活動等、特色ある教育活動の中でやりがいや達成感を味わうことができている。	3.7	3.7
人権・同和 教育 生徒指導	5	お子さんは、いじめや差別をしない、見過ごさないようにしている。	3.6	3.6
	6	お子さんは、学校のきまりを守って生活することができている。	3.3	3.5
キャリア教育	7	お子さんは、将来に夢をもち、自分の進路や生き方について考えることができている。	3.5	3.3
安全管理 保健管理	8	お子さんは、交通安全やけがの防止等、安全面に注意して登下校できている。	3.6	3.5
	9	お子さんは、自分の健康状態を確認したり、適切に水分補給したりするなど、自ら健康管理に努めている。	3.2	3.3
	10	学校は、換気の確保や手洗い等、日頃から状況に応じた感染症対策を適切に行っている。	3.8	3.8
特別支援教育	11	学校は、配慮を必要とする児童生徒に対して、個に応じた指導を適切に行っている。	3.7	3.4
組織運営	12	学校には、相談しやすい、立ち寄りやすい雰囲気がある。	3.5	3.6
学力向上	13	お子さんは、学校の授業や家庭学習に一生懸命取り組み、学習内容を理解しようと努めている。	3.5	3.3
保護者 地域との連携 情報提供	14	学校は、教育活動の充実に向けて地域や保護者と連携・協力している。	3.7	3.7
	15	学校は、日浦便りやホームページ等により、積極的に情報を発信している。	3.8	3.9
教育環境	16	学校は、校舎内外の掲示物が整っており、環境が整備されている。	3.9	3.8
小中連携	17	学校は、縦割り班活動などの小中連携を強化した教育を推進し、そのよさを生かしている。	3.7	3.7
	18	学校は、小中教員による交流授業を通して、系統性を重視した学習指導を行っている。	3.8	3.6

【考察】

○（14・15・17・18）学校からの情報発信、地域や保護者との連携・協力、日浦ならではの小中連携教育の推進に対して概ね高い評価を得ている。今後もこれらの取組を継続し、児童一人一人の成長につなげていきたい。

○（3・10・11・16）学習指導や教育環境整備、保健管理等、学校の取組に対して概ね高い評価を得ている。特に項目3・11の評価が昨年度より上昇。今後も少人数を生かし、個に応じたきめ細かな指導の実現に努めたい。

▲（1・2）評価が低いというわけではないが、児童の評価との間にややずれが生じている。ホームページや日浦便りで発信している情報が、学校・地域行事、校外学習等中心になっているので、各教科、日々の授業の様子を発信することにも努めていきたい。

▲（6・7・9・12・13）児童の評価同様、他の項目に比べて課題を感じる。児童の評価分析に示したとおり、児童一人一人の成長、また教職員及び児童の余白の創出等を意識し、課題解決に向けた教育課程の見直しを進めていきたい。

【中学校保護者】

昨年度

カテゴリー 質問内容		平均値	平均値
教育課程 学習指導	1 学校は、一人一人が分かる喜び、共に学ぶ喜びを実感できる授業を行っている。	3.7	3.3
	2 授業では、タブレットPC・テレビなどの教育機器が効果的な場面で活用されている。	3.6	3.4
	3 学校は、お子さんの学力や体力の状況を把握し、それらの充実に向け計画的に指導を行っている。	3.6	3.1
	4 お子さんは、授業や様々な体験活動等、特色ある教育活動の中でやりがいや達成感を味わうことができている。	3.3	3.5
人権・同和 教育 生徒指導	5 お子さんは、いじめや差別をしない、見過ごさないようにしている。	3.7	3.5
	6 お子さんは、学校のきまりを守って生活することができている。	3.5	3.5
キャリア教育	7 お子さんは、将来に夢をもち、自分の進路や生き方について考えることができている。	3.2	3.2
安全管理 保健管理	8 お子さんは、交通安全やけがの防止等、安全面に注意して登下校できている。	3.6	3.4
	9 お子さんは、自分の健康状態を確認したり、適切に水分補給したりするなど、自ら健康管理に努めている。	3.2	3.3
	10 学校は、換気の確保や手洗い等、日頃から状況に応じた感染症対策を適切に行っている。	3.9	3.8
特別支援教育	11 学校は、配慮を必要とする児童生徒に対して、個に応じた指導を適切に行っている。	3.8	3.1
組織運営	12 学校には、相談しやすい、立ち寄りやすい雰囲気がある。	3.3	3.3
学力向上	13 お子さんは、学校の授業や家庭学習に一生懸命取り組み、学習内容を理解しようと努めている。	3.2	2.9
保護者 地域との連携 情報提供	14 学校は、教育活動の充実に向けて地域や保護者と連携・協力している。	3.4	3.5
	15 学校は、日浦便りやホームページ等により、積極的に情報を発信している。	3.8	3.7
教育環境	16 学校は、校舎内外の掲示物が整っており、環境が整備されている。	3.8	3.8
小中連携	17 学校は、縦割り班活動などの小中連携を強化した教育を推進し、そのよさを生かしている。	3.6	3.7
	18 学校は、小中教員による交流授業を通して、系統性を重視した学習指導を行っている。	3.7	3.5

【考察】

- (10) バスによる登下校生徒が多い中で、感染症等の対策は非常に重要であるということを教職員全体で共有し、手洗いやうがいの声掛けを行っている。また、エアコンを活用しながらも、必ず喚起を行っていることを理解していただいている。※ただし声掛けはしても強要はしないように教職員でも共通理解しておく。
- (15・16) 昨年度と同様に高い評価。昨年度以上に、速攻性を上げ、日浦小中学校の活動のホットな情報をより早く伝えることができていると言える。
- (11) 日浦中の生徒は、様々な地区、異なった環境で育ってきている。その中で、個に応じた対応が必要な場面が出てくる。その都度、教職員で共有し、必要であれば会議をしながら対応していることが、保護者の方々に伝わっていると考えられる。
- (1・3) 様々な研修を受講したり、研修で学んだことの共有をはかったりすることで、ICT機器の活用方法や授業の改善を行っており、結果、生徒が学ぶ楽しさを感じる授業が増えていると考えられる。体育に関しても、授業改善をしながら、運動が苦手な生徒も抵抗なく授業に参加しやすい授業形態をつくっている結果と考える。
- ▲ (4・7・17) 教職員の減少により、小中の交流授業の減少、行事の精選等が影響していると感じるが実際にはそこまで行事が減っているわけではない。また、行事等でやりがいや達成感を感じることはできているが、そのことが将来に向けて考える力には大きな影響は与えられていないようだ。交流業が少ない中で、より児童生徒が目的意識を持って臨むことができるような事前事後指導を含めた小中連携を図り、行事や学習等での成功体験が考える力につながっていくようにしていきたい。
- ▲ (1・3・13) 学力向上についての項目が低い。学校の授業では意欲的に活動しており、学習に対して前向きに取り組んでいる。また、各授業で出される課題に対しても真剣に取り組んでいる生徒がほとんどである。しかし、学習に対する意欲ではなく学習内容を理解しているという点であるため、評価がやや低いと分析できる。現在、確かな学力を身に付けるため、日浦オリンピックとして基礎的なテストを学期に1回行っており、このような学力向上に向けての取組を継続していきたい。

3 学校に対する保護者からの意見・要望

○ 良い点

(1) 教職員への感謝と評価

- ・担任の先生だけでなく、どの先生も様々な角度から、それぞれの子に目を向け、たくさん関わってくださる。お陰で楽しんで学校に通えている。
- ・子どもたちは学校、友達、先生方のことが大好きである。安心できる環境で、毎日学び続けることができている。
- ・日々の生活や学校行事等で子どもたちが楽しく過ごせるようたくさんの努力や優しさを向けてくださる。
- ・子どもたちの個性や特性などをしっかり把握していただき、学校での様子を聞けることで、我が子を客観的にも見るができている。

(2) 学校生活全般

- ・少人数の良さを生かした教育がなされている。校内は清潔で整っており、先生方も親切で頼りがいがある。困ったことにもすぐ対応していただきありがたい。
- ・地域の方には行事等で大変お世話になっており、子どもたちも喜んでいる。日浦ならではの体験学習は、今後の人生でも役立つと思う。ありがたい。
- ・小さい学校だが、図書館支援員やスクールカウンセラーもあり、子どもたちが話をするのを楽しみにしている。

→保護者の皆様の温かい御支援に感謝申し上げます。今後も子どもたちのために、魅力ある学校づくりに努めてまいります。

■ 改善点・意見

(1) 学校行事とその対応について

- ・日浦に限らず、どの学校でもコロナ渦以降行事が無くなったり、簡略化されたりしたまま現在に至っている学校が多いように感じる。簡略化したままでよいのか考える時ではないか。
- 教育環境の変化や動向を踏まえながらの行事等の精選は必要かと考えます。また本校は、児童生徒数や教職員数の減少に伴い、従来と同等の学校行事を実施することは困難な状況になってきていること、特に2学期の行事が多い中、学習進度に遅れが生じないよう授業時数を確保することも大事です。これらの状況も鑑み、自然と共に学ぶ日浦の良さを大切にしつつ、子どもたちの視点に立って今後の学校行事を編成していきます。

(2) 通学バスの運行について

- ・通学バスのバス停を利用する際のルールなど、PTAではなく学校管轄にしてもらいたい。
- ・毎月の予定一覧やバス時刻表を、もう少し早くもらうことはできないか。

→本校の通学用バス運行規約では、送迎は保護者の責任の下で行っていただくこととなっています。PTA 社会教育部を中心に、保護者の皆様で、子どもたちのバス通学が安全にできるよう見守ってくださっています。ありがとうございます。

バス時刻表につきましては、行事で特別ダイヤになる際の利用状況について、担当教員がこまめに確認し、市教委と連絡を取り合って時刻表を作成しており、作成や確認作業には多くの時間を要するため月末の配付になってしまうことを御理解ください。なお、年間の行事予定については学校ホームページに掲載しており、通常より早く下校する日等は、こちらから確認ができます。

(3) 学校の運営や設備について

- ・タブレットの利用を減らして、家に持って帰らない方がいいと思います。
- ・教科書を学校に置いたままにすることもできるのでしょうか。
- ・タブレットを使った宿題は便利な反面、速記するための書く力が弱まっているように感じています。

→タブレット端末は文房具の一つと考えられており、デジタル学習基盤を使った授業がスタンダードとなっています。もちろん、デジタルとアナログの両立は大切なことであり、特に小学校では、文字を正しく書く指導も大切にしています。なお、タブレット端末は今年度の2月までに新しい機種に変わり、軽量化され処理速度も上がります。また、タブレットを含む、学習道具については、登下校の荷物を軽減するため、学校に置いておいてよいものを年度初めにお知らせしています。今後も下校時に荷物の確認を教員が行うようにしたいと思います。御家庭でも御協力をお願いいたします。

(4) 幼保小中連携について

- ・日浦は小中連携を行っており、中学校の先生方はこれまで小学生と関わりがなく、日浦で初めて小学生に出会うことで、新たに学ばれることも多いと伺っています。小学校の先生方も同様に幼児教育について学ばれることで、小学校入学時の不安が軽減できると思います。

→松山市で行っている幼保小中連携事業の一環で、研究発表や授業を参観する機会があり、毎年本校教職員も参加しています。今後もこれらの研修で学んだことを全教職員に還元し、子どもたちが安心できる環境の中で、充実した学校生活を過ごせるよう努めていきます。

今回の学校評価では、建設的な御意見・評価を多くいただきました。いただいた評価や御意見を踏まえ、子どもたちのより良い成長に向けて、学校改善に努めていきたいと思っています。今後とも御理解・御協力をよろしくお願いします。